

# 第一回鳥取県保護司フォーラム開催

事務局長 葉狩健一

第一回保護司フォーラムは、県や保護観察所、各保護司会をはじめ、保護司みらい研究所の多大なご協力の下に、十二月五日倉吉市において開催することができました。関係者の皆様には深く感謝申し上げます。令和五年度鳥取県保護司会連合会の新規事業として三月理事会で承認をいただいたところから準備がスタートしました。四月には各保護司会へのアンケート調査の実施、五月理事会での中間報告、九月に開催した第二回理事会及び保護司会代表者等協議会合同会議において、フォーラムの方向性や今回のテーマの一つになった「社会を明るくする運動の在り方」について意見交換が行われました。それとともに、令和四年七月に立ち上げられた「保護司みらい研究所」ホームページからアクセスし、フォーラムの意図や趣旨をお伝えし、基調講演のお願いができないか打診したところ、九月中旬今福代表から研究所とのコラボ企画で開催させていただいたらとのご連絡をいただき、パイプがつながりました。又今年度、全国に先駆けて策定された「鳥取県再犯防止推進計画」が第二期のスタート年であったことや組織改編により「孤独・孤立対策課」を設置されたことなど、県の

先進的な取り組みを改めて知り、連携を深めようとの意図も加わりました。このような経緯を踏まえ、今回のフォーラムは、第一部「息の長い社会復帰支援の推進と地域連携の在り方」、第二部「社会を明るくする運動の在り方をめぐって」、第三部「保護司みらい・街トークラボ」と三部構成の盛りだくさんな内容となりました。午後の今福代表の基調講演「複雑化する現代社会へ保護司の未来へ」、それを受ける形で行ったフリートークでは、八〇名の参加者が九グループに分かれ、まさに交流にふさわしい熱心な意見交換が行われました。「つながり続ける」「人を孤立させない地域の創造」「種をまく」。参加者それぞれに腑に落ちる言葉が残ったのではないのでしょうか。それらの言葉が参加者あるいは保護司会の中で共有され、育まれ、次につながっていく。その継続性こそがフォーラムの使命でもあると考えています。参加者の皆様からのアンケートは集約の上、フィードバックさせていただきませんが、一堂に会することへの期待やこうした取組みは必要とのコメントが多くいただけたように思います。改めて私たち保護司の立ち位置を確かめる良い機会となったように思いました。

## フォーラムの様子



グループに分かれてフリートーク



保護司みらい研究所今福代表基調講演

### ～お知らせ～

第1回保護司フォーラムの動画について、YouTubeにてご覧いただけます。詳細はQRコードを読み取ってください。

